

特定非営利活動法人サンカクシャ



親や身近な大人を頼れない 15~25 歳くらいまでの若者を対象に社会活動への参画を目指しています。これまでに 250 人以上の若者を支援してきました。

今回の助成申請内容(先駆的实践):親からの虐待や家が居場所ではないなどの影響で、居場所がない若者とつながり、夜の間安心して過ごすことができる居場所を提供。孤立を防ぐ取り組みを行う。また、公的支援が止まってしまう夜間の若者の実態や支援ニーズを本事業を通じて可視化し、課題を普及啓発や政策提言も実施します。

一般社団法人青草の原れもんハウス



それぞれが自分として大切にされ、安心できる場。生きるために必要な栄養と休息を得られる場。そのような場と出会いを作っていくこと、広げていく事を目指して活動しています。それぞれが安心できる居場所作りとして「子どもショートステイ」「アルイルづくり」を行っています。

今回の助成申請内容(先駆的实践):様々な生き立ちの中での傷つきにより生きづらさを抱えている若者などに、安心できる場と他者との出会いをつくっていく。「れもんハウス」を拠点に専門職だけではなく、地域の人々が、子どもや若者、親子を支えていけるような事業スキームを整え、他自治体への広がりもあるようなモデルとしていきたいです。

特定非営利活動法人育て上げネット



すべての若者が社会的所属を獲得し、「働く」と「働き続ける」を実現できる社会をめざし、若者と社会をつなぐサポートを行っています。若者当事者や保護者を支援するだけでなく、支援現場を可視化・体系化し支援者を育成すること、

地域社会・行政・企業など若者を支援する担い手を増やすことなど、多岐にわたる支援を行っています。今回の助成申請内容(先駆的实践):少年院を出院する若者の更生自立に伴走する事業。社会的な養護・支援が必要な若者(主に 10 代・20 代)に対して、[1]生活支援事業、[2]相談支援事業、[3]伴走支援事業、[4]ネットワーク事業、[5]アドボカシー事業の 5 つを柱とした伴走支援事業を実施します。

社会福祉法人わかさ会児童養護施設若草寮

児童養護施設



児童養護施設は「暗い、貧しい、可哀そう」といったマイナスなイメージを持たれがちですが、実習生など施設と関わりを持った方からは、「イメージと違った」という声がよく聞かれます。若草寮は定員 30 名という規模の小さな施設です。職員も子どもも、それぞれ顔が分かる距離感で生活し、地域の方々にも見守られながら生活をしています。「若草で育ててもらったなら大丈夫だね!」と周りから言ってもらえるような施設を目指していきたいです。

今回の助成申請内容(伴走支援)児童養護施設出身者への伴走。現在在学中の専門学校の学費等を助成します。

プログラム

10:00~10:05	あいさつ(主旨説明)
10:05~11:00	各助成団体からの報告(4 団体)
11:00~11:10	生活クラブ若者体験就労に関するしくみ報告
11:10~11:25	質疑応答
11:25~11:30	まとめ